あいち朝日遺跡ミュージアム見学

飯田　光彦（32 期　文化 B）

当日は非常にいい天気で見学日和の中、５月２４日（火）あいち朝日遺跡ミュージアムに 18 名で行きました。弥生時代（紀元前 2300～300 年頃）縄文時代晩期に中国大陸から北部九州に到来した稲作農耕と青銅器・鉄器は、新たな文化を創りだしました。　貝殻山貝塚（清須市）は朝日遺跡で最初に発堀調査が行われた弥生時代の貝塚です。この周辺は弥生時代前期に、朝日集落で最も早く暮した場所で貝殻山貝塚の発堀調査資料を含む朝日遺跡の出土品 2028 点が重要文化財に指定．〇遠賀川系土器（弥生前期）〇条痕文系土器（弥生前期）〇骨角製品（弥生前期）牙製垂飾（弥生前期）また弥生時代前期の土器に残された種子の圧痕から稲の圧痕が見つかりこの時期から本格的な農耕社会に突入しました。この展示品を見学させていただき、弥生時代の生活がわずかながら勉強と懇切丁寧な説明をいただきました。有り難うございました。